

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 9日

事業所名 ココリス

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	55%	36%	9%	活動によってテラスや他の部屋を利用するなど、スペースを有効利用して支援を行っています。	活動スペースが十分でないため、お子さまの特性に合わせて、活動スペースや活動内容などを分け、今後もより良い支援に繋げていきます。
	2	職員の配置数は適切である	64%	36%	0%	法令に遵守した人員配置を行っています。	様々な障がい特性の方がご利用されており、一人ひとりに合った支援を心掛けているため、法令の配置以上に職員が必要となることもあります。職員同士が引継ぎを行い、活動を工夫することで、今後も子どもたちの成長に合った支援を提供できるようにしていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	91%	9%	0%	障がい特性に応じ、バリアフリー設備を使い分けています。	バリアフリー設備を兼ね備えており、安全に過ごせる環境を提供していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	73%	27%	0%	定期的な会議などを行い、目標設定やモニタリング会議で振り返りを行うとともに、職員間で共有しています。	職員全員が同時に会議に参加できないため、会議録や引継ぎノートを利用して共有できるようにします。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	91%	9%	0%	アンケートを行い、保護者等の意向を把握し、職員に周知を行い、業務改善に繋がっています。	職員全員に周知が出来るよう、会議の場で話を行い、どのように業務改善につながっているかをみんなが確認出来るように会議録を作成し、共有します。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	73%	27%	0%	自己評価の結果について、ホームページにおいて公開しています。	ホームページにて自己評価表の公表を行っています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	91%	9%	0%	内部における第三評価を行っています。	内部での評価しか行っていないため、外部評価については今後検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	82%	18%	0%	研修の機会を確保しています。	障がい特性に応じた研修や療育に関する研修など、今後も職員の資質の向上のために、より研修の機会を確保していきます。
適切な	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	91%	9%	0%	アセスメントを適切に行い、お子さまや保護者のニーズや課題に合わせた放課後等デイサービス計画を作成しています。	今後もお子さまや保護者のニーズや課題をしっかりと把握し、放課後等デイサービス計画の作成をしていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	64%	27%	9%	事前にアセスメントツールを作成しています。	今後も職員間でアセスメントシートを共有し、より良い支援へ繋がっていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	82%	18%	0%	それぞれのお子さまの発達に合わせた支援内容を設定して、チームで検討し、放課後等デイサービス計画を作成しています。	職員が全員集まることができないこともあるため、今後も引継ぎノート等を利用して職員間で周知していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	73%	27%	0%	会議で1~2ヶ月毎に活動を考えて実施しています。遊びが広がるような工夫をしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	55%	45%	0%	長期休暇時などは、外出活動など平日では取り組めない活動を取り入れています。	休日や長期休暇時は、児童発達支援と利用が重なる時間があるため、活動プログラムをしっかり立て、きめ細やかに支援できるよう取り組んでいきます。

支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	91%	9%	0%	お子さまの特性に合わせて、個別活動や集団活動を取り入れながら放課後等デイサービス計画を作成しています。	今後も、お子さまの特性に応じ、個別活動や集団活動を組み合わせて計画を作成していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	82%	18%	0%	勤務時間が異なるため、職員がそろって打ち合わせをすることはできませんが、職員間での伝達や連絡ノートを利用して確認するようにしています。	今後も連絡ノート等を利用して、支援の内容や気づいた点などを、職員が共有できるように取り組んでいきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	36%	55%	9%		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	64%	36%	0%	日々の支援については、ケース記録に記入しています。また、会議や振り返りなどで、支援の検証・改善につなげています。	会議において、必要に応じてケース検討を行い、支援の検証・改善を行うようにしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	91%	9%	0%	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを行っています。	今後も会議などでモニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しをしていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	82%	18%	0%	ガイドラインの基本活動に応じた活動内容を取り入れ、組み合わせ合わせて提供しています。	ガイドラインを職員間で今後も共有し、計画書にも反映させていきます。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	73%	27%	0%	子どもの状況を最も知りえる職員がサービス担当者会議に参画しています。	今年度はコロナ禍で、会議開催が少なかったですが、今後も、子どもの状況に精通した職員が参加できるよう、配慮していきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	91%	9%	0%	学校と情報共有をしながら、連絡調整を行っています。	今後も学校と連携を図りながら、適切な支援が提供できるように努めていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	45%	18%	9%	医療的ケアが必要な子どもの受け入れを行っていません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	82%	9%	9%	相談支援事業所と連携を取りながら、情報共有を行っています。	今後も、メールや電話、文章なども活用しながら、情報共有と相互理解に努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	82%	9%	9%	同事業所内での移行時は、情報共有を行っています。	他事業所への移行の際も、相談支援専門員と連携し、必要な情報提供が出来るよう努めていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	73%	18%	9%	必要に応じて、研修などに参加しています。	今年度はコロナ禍で研修等が少なかったですが、今後も連携等に努めていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	27%	36%	36%	コロナ禍もあり、交流する機会が取れていません。	必要に応じて、今後検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	36%	45%	18%	協議会へは参加できていませんが、事業所連絡会には参加しています。	協議会等に参加できていませんが、必要に応じて検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	91%	0%	9%	連絡帳や送迎時に、保護者と子どもの様子を伝え合い、必要に応じて電話連絡や面談を行い、共通理解を行えるように取り組んでいます。	今後も保護者との連携を図り、適切な支援の提供を行います。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	45%	27%	27%	面談の機会をもつことで、必要に応じて保護者への支援を実施していけるようになると考えています。	ペアレント・トレーニングは行えていませんが、必要に応じて臨床心理士による面談や電話連絡で相談などを行っています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%	契約時に、保護者に説明を行っています。	今後も丁寧な説明を行っていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	91%	9%	0%	相談の都度に、必要な助言や支援を行っています。	今後、面談をする機会をもつことで必要に応じて保護者への支援を実施していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	27%	27%	45%		保護者会等を開催することができていません。必要に応じて、検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%	苦情解決の体制及び手順については、契約時に説明させていただいています。また、苦情があった場合はすぐに対応させていただきます。	今後も、苦情等につきましては、迅速かつ適切に対応させていただきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	0%	ホームページやコピ通信において、活動概要や連絡事項を発信しています。	今後も、ホームページも活用し、情報発信を行います。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%	個人情報の取り扱いについて、十分に注意しています。	個人情報保護規程に基づき、今後も取扱いについては十分に注意をしていきます。

36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%	視覚的な支援を行うことなど、意思の疎通が取りやすいように配慮しています。	連絡帳を通じて保護者の方とは情報伝達・共有を図っていますが、必要に応じて、電話連絡や面談も行っていきます。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	0%	コロナ禍もあり、そのような機会が作れていません。	地域住民を招待することができていないため、今後検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	0%	各種マニュアルについて、策定し、周知できるようにしています。	各種マニュアルについては、ホームページを活用し、周知させていただきます。各種訓練についても、取り組んでいきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%	年に2回の避難訓練を行っています。	今後も定期的に訓練を実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%	虐待防止の研修は、定期的に行い職員に周知しています。	今後も虐待防止の研修や、虐待の芽チェックリストを定期的実施し、虐待防止に努めていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	0%	身体拘束については、契約時に保護者に対して、重要事項説明書において説明しています。現在まで身体拘束を行う事例はありません。	今後についても、基本的には身体拘束を行わない工夫を継続していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	0%	アセスメント時に保護者から確認し、職員に周知しています。	今後もアセスメントをしっかりと行い、対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%	ヒヤリハット事例は職員間で共有しています。全職員に周知した方が良い事例については書面にて報告・共有しています。	今後も、会議等において共有していきます。